

2018 年 11 月 30 日発行  
財団総括委員長 藤居 彰一

1. ロータリー財団月間 (財団地域研修セミナー)      2. 2820地区の対応状況



題記研究会が、去る11月18日～21日に神戸ポートピアホテルで開催されました。

11月18日には、ロータリー財団地域セミナーが開催され、今回の最大の強調事項は、「DDFの有効活用」でした。3年前に御寄付頂いた年次基金寄付は、50%が、国際財団活動資金(WF)として、財団管理委員会に於いて使途が決定され、残りの50%が、DDFとして、地区に於いて活用されます。

DDFの内地区補助金は、2014年以降順調にその活用が伸びて居りますが、グローバル補助金による活用は、毎年の未消化分が累積し、2018年6月末現在で約811万ドルに達して居ると報告されて居ります。

ロン・バートン財団管理委員長が掲げる下記の優先事項4項に沿ったDDFの活用を検討する様強く要請されました。

- 1) ポリオの撲滅。  
地区からの支援額に対し、WFから半額の上乗せがあり、更にビル&メリンダ・ゲイツ財団よりその2倍の額が上乗せされます。(5,000万ドルが上限)
- 2) 6つの重点分野における奉仕活動の持続性を高める。  
6つの重点項目は、国連が定めている17項目の持続可能な開発目標と同じ方向を向いて居る物が多く、ニュースの発掘に大いに役立つ関係にあると思います。
- 3) DDFの全額を有効活用。  
地区補助金の活用以外に、ポリオプラスやロータリー平和センターへの寄贈、DDFの少ない地区への寄贈も考えられます。
- 4) 恒久基金を2025年までに、20億2500万ドルに向けて。

基金の元金が150万ドルに達すれば、収益から毎年1名の平和フェローを支援する事が出来ます。(ロータリーの友11月号P-8～P-9より)

地区補助金は、本年度もほぼ満額活用、グローバル補助金は、例年より案件が少なめである為、今まで控え目であった、ポリオ及び、ロータリー平和フェローへの寄贈を夫々\$10,000させて頂きました。

3. 今月の補助金プログラムの動向

- 1) GG1754607: 寺前優子さんの奨学金  
最終報告書の承認がホストクラブで滞って居りましたが、日本財団室、ロータリー財団補助金担当部の日本担当の方々にも御支援を頂き、11月28日無事、TRFへ最終報告書が提出されたとの御連絡がありました。
- 2) GG1862795: 結城RCが、D.3350に実施していた、人工透析器・他の案件及び  
GG:1862960: 水戸南RCが、D.3350で実施していた、病室用ベッド・マットのプロジェクトが、夫々の最終審査を終わり。完了。
- 3) GG1753266: 下館RCが、ネパールの学校教育用プロジェクトの導入は、相手先の関係者のMOU参加確認が整い、プロジェクト開始(補助金支給開始)の段階に入ります。
- 4) GG1875938: つくば学園RCの芝田共宏君、シカゴ大学奨学生は、大学院で更なる高い段階の理論を学ぶ機会に恵まれ、ホストクラブの行事にも参加し、順調に勉学中です。
- 5) GG1873598: つくば学園RCの貴山楓子さんはタフツ大学大学院にて、「小学生向け多文化共用カリキュラムの開発」に従事し、それがバージニア州フェアファックス群の小学校に採用されたとの事で、張り切って勉学中。
- 6) GG1756944: 水海道RCの園田裕之君は、ロンドン大学を終了しMBAに挑戦し、成績上位者に授与される「優秀賞」を受賞したとの報告が届きました。

4. 野生株によるポリオ症例数

国	2018-1/1 ~11/20	2017	2016
パキスタン	8	8	20
アフガニスタン	19	14	13
ナイジェリア	0	0	4
赤道ギニア	0	0	0
合計	27	22	37